

ヘバーデン結節

ヘバーデン結節とは、指の変形性関節症の1つです。

指の第一関節に痛みや腫れを伴います。

節くれだったコブのようなものができることもあります。

ヘバーデン結節の進行が進むと、骨の変形があらわれ指が曲がってきます。

指の変形は老化のせいだろう、と諦め、何年もそのままにしていた方が高齢の方では特に多いようです。

職業病や遺伝的要素もあると考えられていますが、はっきりした原因はわかっていません。

原因がわかっていないために、ヘバーデン結節の治療法も痛みをやわらげる治療法のみが勧められています。根治する治療法はないとされています。

またヘバーデン結節は、朝に感じる手のこわばりや違和感が初期の症状としてあるようです。

これもまた、手のこわばりは誰にでも起こるものと思い、しばらくそのままにしている方が多くいます。

そのため気づいた時には、症状の進行が進み、治療にも時間がかかるという結果になっているようです。

初期の段階で気づくことができれば、ヘバーデン結節の進行を遅らせることもできるようです。

指が変形する病気には、ヘバーデン結節の他にも関節リウマチという病気があります。この2つの病気の違いは病院での検査ですぐに判断できるので心配はいりません。

手指の違和感や痛みは、放置せず早めに診察に行くことをおすすめします。